

2026年4月22日

「賃貸」に住まう人の 暮らしの“こだわり”に応える
賃貸住宅コンセプト『Lacine(ラシーネ)』をリニューアル展開
暮らしのストレスを解消し、ゆとりと付加価値を創出 「GX 志向型住宅」にも対応

パナソニック ホームズ株式会社は、賃貸住宅コンセプト『Lacine(ラシーネ)』をリニューアルし、2026年4月から当社の賃貸住宅商品の暮らし提案において、全国展開します。

『Lacine』の新しいコンセプトワードは、「暮らし、ときめく」 — 「ときめく」毎日が、続いてゆく。ストレスフリーとウェルビーイングの視点で、「自然体でいられる場所の“居ごこち”」と「こころ愉(たの)しく前向きになれる時間の“ゆとり”」を生み出し、暮らしそのものを「ときめき」につなげるというものです。住まいにおけるさまざまなストレスを解消し、暮らしに付加価値を創出する設備・動線(「家事楽」^{※1}など)を採用することで、暮らしの価値を高め、「住みたい」「住み続けたい」と思っていただけの賃貸住宅を提供します。

■背景・リニューアルのねらい

近年、戸建住宅・分譲マンションの価格高騰により、賃貸住宅でこだわりの暮らしを実現したいと考える方が増えています。こうしたニーズを踏まえ、賃貸住宅入居者(男女約1,000名)を対象にアンケート調査^{※2}を行い、「賃貸」に求められるものを探りました。その結果、住まいに希望することとして「心身にゆとりを持って住みたい」「居心地の良い空間」などが回答の上位を占め、「ゆとり」「居心地」が求められていることがわかりました。また、回答者の76%が、「動線」「適材適所収納」「家族の協力」において、何らかの困りごとを抱えていることも明らかになりました。

これらの結果等を踏まえ、今回のリニューアルでは、メインターゲットであるY世代・Z世代(一部)^{※3}が暮らしに求める価値観を踏まえたコンセプトを検討するとともに、デザインも向上させ、入居者の満足度と賃貸住宅経営における競争力を高めます。さらに、次世代の集合住宅ZEH基準「GX ZEH-M^{※4}」を見据えて、断熱性能等級6^{※5}・一次エネルギー消費量35%削減を可能にし、「GX 志向型住宅」にも対応^{※6}します。

■『Lacine』の特長：3つのポイントで暮らしの価値を向上

入居者が、生活動線や家事、家族との時間など、さまざまな暮らしのシーンで「不満だ・不便だと感じること」を解消することで、時間と心にゆとりを生み出すとともに、暮らしにときめきを感じられるよう設備・動線を配置していきます。アンケートの声などをもとに、次の3つのポイントで暮らしの価値を高めます。

「美しい暮らし」…片付けのしやすさや、身だしなみの整えやすさなど

「楽しい暮らし」…家族の時間や、家事そのものを楽しめる工夫

「優しい暮らし」…子どもの見守りがしやすい間取りや、大人も子どもも使いやすい設備など

当社は、創業者 松下幸之助の「住まいは人間形成の道場」という言葉にあらためて立ち返り、2026年1月に私たちの存在意義を「暮らしをつくり、ひとをつくる」と策定しました。創業以来、「人」を起点に暮らしを考えてきた当社の想いを体現し、「暮らし」と「住まう人」にこだわったコンセプトが『Lacine』です。

当社は、入居者の暮らしの価値と満足度の向上に取り組むとともに、土地活用として賃貸住宅を建てていただくお客さまに持続価値の高い物件を提供し、賃貸経営のお役に立てる提案・商品開発に、今後も注力していきます。

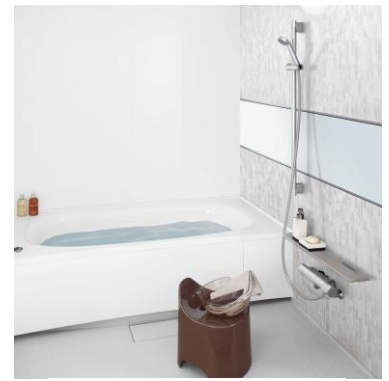
暮らし、ときめく

Lacine

『Lacine』ロゴ

【3つのくらしの価値をかなえる設備・動線の例】

- 心と体のきれいをはぐくむ「美しいくらし」
 〈例〉 適材適所の収納計画
 食料等収納用のパントリー、洋服用にウォークインクローゼット
 など、各所に適切な収納・棚を用意。
- 笑顔になれる、心弾む「楽しいくらし」
 〈例〉 調理や対話を楽しむ対面キッチン
 リビングに背を向ける壁付けキッチンで感じがちな調理時の孤独感を解消。食洗機付きで片付け時間を短縮し、ゆとり時間を創出。
 〈例〉 ゆったりとくつろぐ広めのバスルーム
 一日の疲れを癒やしながら、楽しい家族の時間も広がる。
- ゆったりくつろぐ「優しいくらし」
 〈例〉 リビングの子ども見守りカウンター
 家事中も会話や見守りができ、自分でも使える。

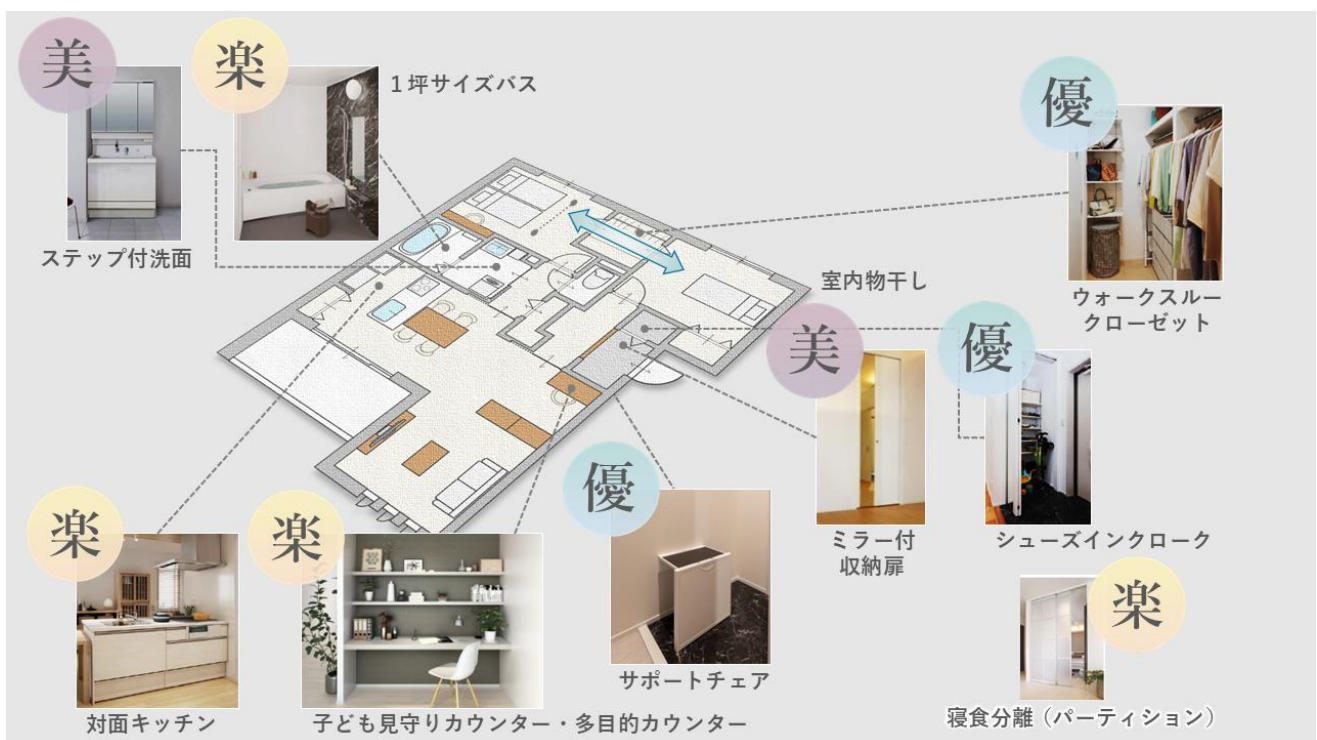


広めのバスルーム



子ども見守りカウンター

また、アンケート※²の結果から、「シンクやキッチン作業スペースが小さく、作業がはかどらない」「衣替えが面倒」など、家事環境が非効率であるため時間がなくなり、家事が十分にできていないことが罪悪感・ストレスにつながっていることもわかりました。当社で培った「家事楽」※¹のノウハウを賃貸版にカスタマイズし、毎日の家事の困りごとに着目して家事空間の快適性を高めることで、家事の負荷を軽減し、時間と心にゆとりを生み出します。



3つのくらしの価値「美しいくらし」「楽しいくらし」「優しいくらし」を反映させた間取り例(ファミリー)

■その他の特長

上質なデザインで“選ばれる”賃貸へ

賃貸住宅を選ぶ際に、外観デザインや内装にこだわるお客さまが増加していることに対応し、水平・垂直ラインを活かした分譲マンションのような外観や、内装を創出。入居者だけでなく、オーナーさまにとっても価値の高い建物を提供します。例えば外観では、当社の強みである光触媒タイル『キラテック』が生きる袖壁(壁や柱から垂直に張り出した幅の狭い壁)で垂直ラインを強調。庇を活かした水平ラインで分譲マンションのような上質な外観デザインを実現します。

「GX 志向型住宅」に対応^{※6}

次世代の集合住宅 ZEH 基準「GX ZEH-M」^{※5}の要件項目では、断熱性能(外皮基準)が現状の「等級 5 以上」から「等級 6 以上」に、また一次エネルギー削減率は現状の 20%から 35%に、それぞれ引き上げられます。これを見据え、『Lacine』では、断熱性能等級 6^{※4}・一次エネルギー消費量 35%削減を可能にし、「GX 志向型住宅」に対応^{※6}します。

■『Lacine(ラシーネ)』は 住まう人の声から生まれたコンセプト

『Lacine』は、賃貸住宅入居者の声に向き合い、2012 年に生まれたコンセプトです。具体的には、2011 年に東京都内に設置した実証実験棟で短期入居を体験した 110 名以上の意見を集め、賃貸住宅に求められるくらしのあり方を調査・検証。2012 年 7 月にコンセプトをスタートし、当時は多様化する女性のニーズに応えるため、機能的な使いやすさに加え、住まう人の視点で幸せな暮らしをイメージした「人に寄り添う住まい」をコンセプトとして展開しました。『Lacine(ラシーネ)』という名称には、「あなたらしい、ときめく暮らしをお届けする」という想いが込められています。

■『Lacine』テーマスタジオをリニューアルオープン

『Lacine』の考え方や、当社賃貸住宅事業・ブランドについて伝える場として、2026 年 4 月、当社千里本社ビル(大阪府豊中市)1 階「住まいとくらしの情報館 千里」内にリニューアルオープンしました(案内は予約制)。

■当社におけるデザイン強化の取り組み

工業化住宅メーカーとして、“当社らしいデザイン”への進化を図るため、2025 年から全社でデザイン強化に取り組んでいます。「美しさと住みこちが深まる～自然・街並みと調和する住まい～」をコンセプトに、ノイズレス・シームレス・サステナブルの 3 つを基本の考え方とし、選ばれるデザインでの住宅提供を通して、競争力を高めていきます。

※1: 「家事楽」は当社の登録商標です。当社は、長年にわたり家事がしやすく、効率化できるように間取りや動線、設備についての研究に取り組んできました。2008 年には戸建商品として、家事を楽しみながら毎日心地よく暮らせる住まいを提案する「家事楽スタイル」を創出。これを賃貸版にカスタマイズし、プランニングに活かします。

※2: くらしに関する WEB アンケート 対象は賃貸入居者 936 人、2026 年 1 月当社調べ。

※3: Y 世代は 1980 年代～1990 年代中盤生まれ、Z 世代は 1990 年代後半～2010 年代初頭生まれを指します。

※4: 「Green Transformation - Net Zero Energy House - Mansion(グリーントランスフォーメーション・ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス・マンション)」の略。

※5: プランやエリアによっては、断熱性能等級 6 に適合しない場合があります。

※6: 「GX 志向型住宅」は、脱炭素社会の実現に向け、政府が推進する「GX」の考え方を住宅分野に取り入れた住まいの方向性。高い省エネルギー性能や再生可能エネルギーの活用などを通じて、住宅のライフサイクル全体での環境負荷低減を目指すものです。尚、本件においては、開口の大きさや数など、物件により対応できない場合があります。

* 本件に関するお問い合わせ先 *

パナソニック ホームズ株式会社 宣伝・広報部 ブランド宣伝・広報課 川原

TEL:080-2107-8588 / E-mail:kawahara.mai@panasonic-homes.com

HP:<https://homes.panasonic.com/company/news/release/>